

# ホタテガイ採苗速報

## 産卵は順調に進んでいます

平成22年3月17日～24日に湾内8地点で母貝調査（養殖2年貝の生殖巣指数調査）を、平成22年3月24日に西湾の4定点でホタテガイ等のラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

### 1 ホタテガイ母貝調査結果

今回の生殖巣指数は、西湾平均で17.3と、前回（17.7）とほぼ同じですが、東湾平均では19.5、全湾平均では18.4と、前回（東湾21.5、全湾19.6）より減少しました（図1～3）。各地の測定結果は表1のとおりです。

### 2 ホタテガイ等ラーバ予備調査結果

3月24日のホタテガイラーバ出現数は、4定点の平均値で、2,964個/トンとなっています。

ムラサキイガイのラーバ出現数は、4定点の平均値で、47個/トンと、昨年同期（3月23日）調査時（88個/トン）より少ない状況でしたが、キヌマトイガイは563個/トンと、昨年同期（363個/トン）より多い値でした。

### 3 海況

3月16日～20日の陸奥湾の水温は平舘ブイで7.0～7.7℃、青森ブイで5.7～5.8℃、東湾ブイで4.7～4.8℃で、平舘ブイの1m層～15m層で平年並み、30m層～底層でやや低め、青森ブイおよび東湾ブイの全層で平年並みとなっています。

### 4 今後の見込み

産卵は順調に進んでいます。今後、水温の上昇とともに、産卵がさらに進みますので、産卵の状況および採苗器投入時期については今後の情報を参考にしてください。

### 5 お知らせ

本日3月29日から全湾一斉のラーバ調査が始まりますので、ご協力をお願いします。

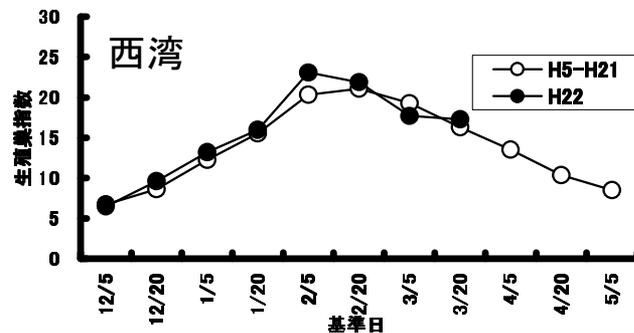


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(西湾平均)

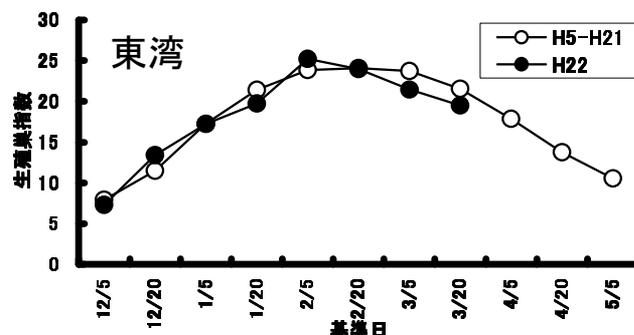


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(東湾平均)

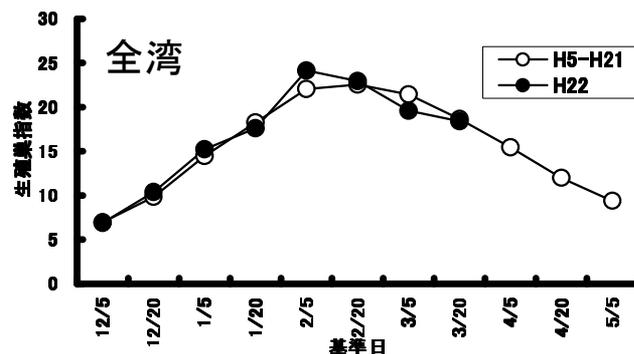


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(全湾平均)

表1 各地の測定結果(調査基準日 3月20日)

	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指数
蓬田村	3月19日	11.3	150.3	60.3	40.1	10.2	16.8 (14.9)
青森市奥内	3月23日	11.2	155.9	64.0	41.1	13.0	20.1 (17.0)
久栗坂実験漁場	3月23日	12.2	197.8	83.2	42.1	14.1	16.9 (19.4)
平内町土屋	3月19日	11.4	163.8	73.2	47.6	11.3	15.4 (19.5)
西湾平均		11.5	167.0	70.2	42.7	12.2	17.3 (17.7)
野辺地町	3月19日	12.1	203.3	91.8	45.1	23.5	25.6 (22.0)
むつ市	3月17日	10.4	130.0	57.8	44.6	11.0	19.0 (23.5)
川内町	3月24日	10.8	134.1	61.1	45.5	10.0	16.2 (20.7)
川内実験漁場	3月23日	11.8	174.0	80.0	46.0	13.7	17.1 (19.6)
東湾平均		11.3	160.4	72.7	45.3	14.6	19.5 (21.5)
全湾平均		11.4	163.7	71.4	44.0	13.4	18.4 (19.6)

( ): 前回の生殖巣指数

